

国際シンポジウム

「マヤ文明」と

「日本神話」

「近代知が紡ぐ地の記憶」

2019年
令和元年

11/9(土) 12:00

白鹿記念酒造博物館 記念館 会議室

スピーカー

ホセ・ルイス・エスカロナ・ビクトリア メキシコ社会人類学高等研究院 教授

「マヤ神話を仕立てる—19世紀における新大陸文明の断片」

平藤喜久子 國學院大學 教授

「植民地主義と日本神話」

コメンテーター
司会

鋤柄史子 チアパス自治大学先住民研究所 研究員
清川祥恵 神戸大学国際文化学研究所 協力研究員

「マヤ文明」と「日本神話」

—近代知が紡ぐ地の「記憶」—

情報を集約し拡散する技術とともに西洋からもたらされた近代学知は、非西洋社会が明示的なアイデンティティを形成するための知の枠組を提供することになった。近代知に支えられた物語は再構築された「記憶」そのものとして大地へ染み込んでいき、その「記憶」は大地から、太古から湧き上がるがごとくとなる。本シンポジウムは、こうした近代学知を底流に持つ、今はなき祖先の「記憶」を想像／創造し、語るものとしての日本神話とマヤ文明に焦点を当てたい。「記憶」のごときものとして大地に注いだものが再び吸い上げられ、文化として花開くとき、何を纏うのか。西洋知をすなわち近代知として受容した日本とメキシコという二つの国における、「『国』の記憶」を呼び起こす物語の意味を、メキシコ社会人類学高等研究院のホセ・ルイス・エスカロナ・ビクトリア教授と國學院大學の平藤喜久子教授の両名を迎え、紐といてみたい。

スピーカー

ホセ・ルイス・エスカロナ・ビクトリア メキシコ社会人類学高等研究院 教授
「マヤ神話を仕立てる—19世紀における新大陸文明の断片」

平藤喜久子 國學院大學 教授
「植民地主義と日本神話」

コメンテーター

鋤柄史子 チアパス自治大学先住民研究所 研究員

司会

清川祥恵 神戸大学国際文化学研究所 協力研究員

使用言語：英語・日本語（通訳あり）／無料／要事前申し込み／定員40名

ご参加はメール〈shinwa@phoenix.kobe-u.ac.jp〉
あるいは右のQRコードからウェブサイトへアクセスし、
フォームからお申し込みください。



- 会場内飲食はお茶・水のみ可となっております。ご協力をお願いいたします。
- 会場入場時に、博物館内の展示もあわせてご覧いただけます。

白鹿記念酒造博物館 記念館

〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21

- 阪神西宮駅より南へ徒歩15分、
阪神バス「マリナパーク」行「交通公園前」下車すぐ
- 阪急西宮北口駅、JR西宮駅より
阪急バス「朝風町」行「東町」下車西へ徒歩5分

